

熱中症予防と感染対策に

宇治市大久保町
平和住宅建設㈱ 市にスポットエアコン寄贈

宇治市大久保町
「山の平和住宅建設(株)」は7日、宇治市に



松村市長から感謝状を受け取った高木社長(中央)と協力会の岸畑会長

可動式のスポットエアコン7台を寄贈した。適切な温度管理と換気で、熱中症対策や新型コロナウイルス感染防止に役立つであろう。

同社は1977年創業。府南部を中心に事業展開しており、注文住宅、分譲住宅の施工販売や増改築工事、不動産売買などの事業を行う。社員数は35人。

暑くなる季節に備え、高い冷房能力を持つエアコンを設置して、熱中症予防と感染対策に役立ててほしい...と同社から申し出があったもの。今回の寄贈には、協力業者で結成する平和会(岸畑

典行会長)も資金協力した。

この日、市役所に高木社長、岸畑会長ら5人が訪れた。高木社長が松村淳子市長に目録を手渡した後、市から感謝状の贈呈があった。歓談の時間では、接種の進行状況や、理想のまちづくり戦略な

どについて話し合った。エアコンは、来週から新型コロナウイルスの接種会場となる市役所ロビーや市文化センターに設置し、さっそく稼働を始めるという。また、接種終了後は、選挙や市のイベント時に使用する予定。

2021年6月8日(火)

洛タイ新報